11 月霜月

SSHS 図書館だより

2022.11.02

2022年　11月

月	火	水	木	金	土	日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

※11 月 21 日は午後休館

ちょっと難しい本を漫画で読んでみよう

どちらもビジネス向けの本ですが、ビジネスに限ったことではなく、日常生活で応用できる考え方が含まれています。

その１　『７つの習慣』：スティーブン・Ｒ・コヴィー/キング・ベアー出版

●実践的人生哲学について書かれた本。●

『７つの習慣 成功には原則があった！』

P23”人は、物事をあるがままに、つまり客観的にみていると思い込んでいるのが常である。
しかし、私たちは世界をあるがままに見ているのではなく、私たちのあるがままに（条件づけされたままに）世界を見ているのだ。”

この部分を漫画で読むと

『まんがでわかる７つの習慣<1>』

P16 “多くの人は自分の都合の良いように物事を見て「いいこと」と「悪いこと」を判断している
そういう人はいつでも「できなかった理由」を人のせい 環境のせいにする”

その２『学びを結果に変えるアウトプット大全』：樺沢紫苑/サンクチュアリ出版（杉総所蔵無し）

『もしも社畜ゾンビが『アウトプット大全』を読んだら』

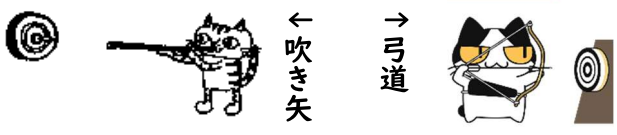
●「学びを結果に変えるアウトプット大全」をオリジナルストーリーで漫画化しており、アウトプット（「話す」「書く」「行動する」「伝える」）の 30 項目が分かりやすく書かれている本。●

P048「**本を読んでも何も現実が変わらない人っているでしょ？そんな人はインプットばかりで何もアウトプットしてないの**」
→OUTPUT 03 Rules 基本法則・・・インプットとアウトプットの黄金比は 3：7

スポーツ吹き矢と司書

スポーツ吹き矢とは・・・「スポーツウエルネス吹矢」。スポーツウエルネス吹矢は、5～10m 離れた円形の的をめがけて息を放ち、その得点を競うスポーツ。（参照:一般社団法人日本スポーツウエルネス吹矢協会 HP）

「忍者を目指しているの？」
スポーツ吹き矢を習い始めたことを、友人・知人に話すと、だいたい同じ答えが返ってきた。
元々弓道を習っていたが、生活環境の変化により、通っていた道場に通うことが難しくなった。ただ運動はしたいと考えながら区報を見ていたら、目に留まった。
練習場所が我が家から近かったこと、気軽にできそうだったので、習い始めた。
激しい運動ではないが、プラスチック矢が的に当たるのはそれなりに爽快だった。しかも、弓道のように難しい教本などはない。
「正しく引けば自ずと当たる」みたいなことも言われない。思いっきり狙って点数の高い的の中心に当てることが求められた。
そしてもう一つ良かった点は「自宅で自主練ができること」
弓道は出来ない。素引きさえも我が家の天井が低すぎて難しい。
その点、吹き矢は矢がちょっと家具や壁に当たっても問題無い！！



昇級試験を１回だけ受験したときは、家の中に的を付けて、夕食後に自主練をしたりした。そのぐらい、気軽な競技だった。
バリアフリー競技のため、競技人口の年齢層は高く、ハンディキャップの方々もおり、10 代以下を見かけることはまれである。
ただ、１回だけ都民体育大会に出たときは、大学のサークルもいくつか参加していたため、全くいないわけではない。
こちらも様々な要因から休止中だが、機会があれば、また習いたいと考えている。